

ドキュメントオブジェクト	
document.alinkColor=色	リンクされている文字の色を設定する。
document.applets	JAVAアプレット(オブジェクト)です。
document.anchors	アンカー()です。
document.bgColor=色	背景色を設定する。
document.clear()	別ウィンドウに表示されているドキュメントを消去する。
document.cookie	最後に参照された時間を返す。
document.close()	ドキュメントをクローズする。
document.fgColor = 色	フォアグラウンドカラーを設定する。
document.lastModified	HTMLファイルの最終変更日返す。
document.linkColor=色	リンクカラーを設定する。
document.location	ドキュメントのロケーション(URL)を返す。
document.open()	ドキュメントをオープンする。
document.referrer	リンクジャンプ元のURLを返す。
document.title	ドキュメントのタイトルを返す。
document.vlinkColor="rrggbb"	すでにリンクしジャンプしたURLの色を指定する。
document.write(項目[,項目1],...[,項目n])	文字または数値を表示する。
document.writeln(項目[,項目1],...[,項目n])	文字または数値を表示後、改行処理をする。
ナビゲーターオブジェクト	
navigator.appCodeName	コード名「Mozilla」を返す。
navigator.appName	アプリケーション名(Netscape等)を返す。
navigator.appVersion	バージョンを返す。
navigator.userAgent	エージェントを返す。
enabledPlugin	プラグインが有効かどうか調べます。
filename	プラグインのファイル名を返す。
javaEnabled	Javaアプレットが実行可能かどうか調べます。
mimeTypes	mime形式を返す。
suffixes	プラグインの拡張子を返す。
文字列オブジェクト	
文字列名.big()	サイズを大きくする。
文字列名.blink()	点滅させます。
文字列名.bold()	太字にする。
文字列名.charAt(参照位置)	1文字抜き出す。
文字列名.fixed()	表示される文字をタイプライタ文字にする。
文字列名.fontcolor(色)	表示される文字色を設定する。
文字列名.fontSize(サイズ)	フォントサイズを変更する。
文字列名.indexOf(検索文字,[検索開始位置])	指定した文字列を探し出す。
文字列名.italics()	斜体にする。
文字列名.lastIndexOf(検索文字,[検索開始位置])	文字列の末尾から文字列を探し出す。
文字列名.small()	フォントサイズを小さくする。
文字列名.split("区切り文字")	文字列に区切り文字を入れ配列として返す。
文字列名.strike()	取り消し線を引く。
文字列名.sub()	下付き文字にする。
文字列名.sup()	上付き文字にする。
文字列名.toLowerCase()	小文字にする。
文字列名.toUpperCase()	大文字にする。
文字列名.substring(参照開始位置, 参照終了位置)	文字列の参照開始位置から参照終了位置-1までの文字列を抜き出す。
日付オブジェクト	
日付名.setDate(日付)	日付を設定する。
日付名.setHours(時)	時を設定する。
日付名.setMinutes(分)	分を設定する。
日付名.setMonth(月)	月を設定する。
日付名.setSeconds(秒)	秒を設定する。
日付名.setTime(時間)	時間を設定する。
日付名.setYear(年)	年を設定する。
日付名.getDate()	日付を求める。
日付名.getDay()	曜日を求める。
日付名.getHours()	時間を求める。

日付オブジェクト	
日付名.getMinutes()	時間(分)を求める。
日付名.getMonth()	月を求める。
日付名.getSeconds()	時間(秒)を求める。
日付名.getTime()	1970年1月1日午前00:00:00からの時間を求める。
日付名.getTimezoneOffset()	グリニッジ標準時とローカルタイムの差分を返す。
日付名.getYear()	年を求める。
日付名.toGMTString()	グリニッジ標準時(文字列)に変換する。
日付名.toLocaleString()	ローカル時刻(文字列)に変換する。
Date.parse(日付)	1970年1月1日午前00:00:00から日付までのミリ秒を求める。
Date.UTC(年,月,日,[時],[分],[秒])	グリニッジ標準時で1970年1月1日午前00:00:00から現在までのミリ秒を求める。
イベントハンドラ	
onAbort	画像の読み込みがキャンセルされた時に発生する。
onBlur	フォームからマウスポインタが離れたときに発生する。
onChange	フォームの内容を変化させた場合に発生する。
onClick	フォームのボタンやアンカーをクリックされた時に発生する。
onError	画像読み込みエラー(画像が見つからない)で発生する。
onFocus	フォームにマウスポインタが重なったときに発生する。
onLoad	HTML書類が完全に読み込まれると発生する。
onMouseOver	アンカー上にマウスポインタが重なったときに発生する。
onMouseOut	マウスがクリック可能な画像のクリック範囲外の場合に発生する。
onResetボタン名	フォームのresetボタンを押したときに発生する。
onメニュー名	フォームのポップアップメニューを選択したときに発生する。
onSubmit	フォームの転送時に発生する。
onUnload	他の書類に移動するときに発生する。
ダイアログ	
alert("メッセージ")	アラートウィンドウを表示し、メッセージとOKボタンを表示する。
confirm("文字列")	確認をうながすウィンドウを表示する。
prompt("メッセージ","デフォルト入力文字列")	文字入力用ダイアログを表示する。デフォルト入力文字列は省略
ヒストリーオブジェクト	
history.back()	1つ前のリンク先に戻る。
history.forward()	1つリンク先を進む。
history.go(増分またはURL)	増分の分だけリンクを移動する。
ウィンドウオブジェクト	
window.close()	ウィンドウをクローズする。
window.defaultStatus	ウィンドウを生成する場合のデフォルトを設定する。
window.open("URL","ウィンドウ名","表示設定")	ウィンドウを新しく開く。
reload	現在のウィンドウをリロード(再読み込み)する。
window.status	ステータスバーに文字や数値を表示する。
scroll	指定されたウィンドウをスクロールさせます。
フォームオブジェクト	
フォーム名.action	<FORM>タグ内のACTIONの内容を表す。
フォーム名.ボタン名.click()	ボタンをクリックしたのと同じになる。
フォーム名.ボタン名.name	ボタンの名前(NAME属性の部分)を表す。
フォーム名.ボタン名.value	ボタンの名前(VALUE属性の部分)の内容を表す。
フォーム名.チェックボックス名.checked	チェックボタンが押されているかどうかを調べる。
フォーム名.チェックボックス名.click()	ボタンをクリックしたのと同じになる。
フォーム名.チェックボックス名.defaultChecked	チェックボックスが押されていれば1を、押されていなければ0を返す。
フォーム名.チェックボックス名.name	チェックボックスの名前(NAME属性の部分)を表す。
フォーム名.チェックボックス名.value	チェックボックスの名前(VALUE属性の部分)を表す。

フォームオブジェクト	
フォーム名.elements	フォーム中の全ての要素を保持する配列。
フォーム名.encoding	<FORM>タグのENCODETYPEの内容を表す。
フォーム名.length	フォーム中の要素の数。
フォーム名.method	<FORM>タグのMETHODの内容を表す。
フォーム名.パスワードボックス名.blur()	フォーカスをはずす。focus()メソッドの逆です
フォーム名.パスワードボックス名.defaultValue	パスワード入力ボックスのデフォルト値を表す。
フォーム名.パスワードボックス名.focus()	テキストフィールドをクリックし、フォーカスを取得したのと同じになる。
フォーム名.パスワードボックス名.name	パスワード入力ボックスの名前(NAME属性の部分)を表す。
フォーム名.パスワードボックス名.select()	フィールド内のテキストを選択された状態にする。
フォーム名.パスワードボックス名.value	パスワード入力ボックスのテキストフィールドの値を表す。
フォーム名.ラジオボタン名.click()	ラジオボタンをクリックしたのと同じになる。
フォーム名.ラジオボタン名.defaultChecked	ラジオボタンのうちでデフォルトとしてチェックされている値を表す。
フォーム名.ラジオボタン名.length	ラジオボタンの中のラジオボタン数
フォーム名.ラジオボタン名.name	ラジオボタンの名前を表す。
フォーム名.ラジオボタン名.value	ラジオボタンのVALUE属性を表す。
フォーム名.ラジオボタン名.checked	ラジオボタンがチェックされていれば1を、チェックされていなければ0を
フォーム名.リセットボタン名.click()	ボタンをクリックしたのと同じになる。
フォーム名.リセットボタン名.name	リセットボタンの名前を表す。
フォーム名.リセットボタン名.value	リセットボタンのVALUE値を表す。
フォーム名.メニュー名.blur()	フォーカスをはずす。focus()メソッドの逆になる。
フォーム名.メニュー名.focus()	ポップアップメニューやリストをクリックし、フォーカスを取得したのと同じになる。
フォーム名.メニュー名.length	メニュー内のoptionオブジェクト項目の数を表す。
フォーム名.メニュー名.name	<SELECT>タグのNAME値の内容を表す。
フォーム名.メニュー名.options	ポップアップメニューやリストの各項目を表す。
フォーム名.メニュー名.selectedIndex	選択されている項目、又は複数選択時の最初の項目を表す。
フォーム名.submit()	サブミットボタンを押したのと同じになる。
フォーム名.サブミットボタン名.click()	ボタンをクリックしたのと同じになる。
フォーム名.サブミットボタン名.name	送信ボタンのNAME値を表す。
フォーム名.サブミットボタン名.value	送信ボタンのVALUE値を表す。
フォーム名.target	<FORM>タグのTARGETの内容を表す。
フォーム名.テキストボックス名.blur()	フォーカスをはずす。focus()メソッドの逆です
フォーム名.テキストボックス名.defaultValue	テキストボックスのデフォルト値を表す。
フォーム名.テキストボックス名.focus()	テキストフィールドをクリックし、フォーカスを取得したのと同じになる。
フォーム名.テキストボックス名.name	テキストボックスの名前(NAME属性)を表す。
フォーム名.テキストボックス名.select()	フィールド内のテキストを選択された状態にする。
フォーム名.テキストボックス名.value	テキストボックスのフィールドの中身を表す。
フォーム名.テキストエリア名.blur()	フォーカスをはずす。focus()メソッドの逆。
フォーム名.テキストエリア名.defaultValue	<TEXTAREA>タグのVALUEの内容を表す。
フォーム名.テキストエリア名.focus()	テキストフィールドをクリックし、フォーカスを取得したのと同じになる。
フォーム名.テキストエリア名.name	<TEXTAREA>タグのNAMEの内容を表す。
フォーム名.テキストエリア名.select()	フィールド内のテキストを選択された状態にする。
フォーム名.テキストエリア名.value	テキストエリア内のテキストを表す。
リンク	
hash	アンカー()の参照。
host	ホストコンピューター名を返す。
hostname	ホスト名を返す。
文字列名.anchor(アトリビュート名)	アンカー()を設定する。
links[参照番号]	リンクの参照を行います。

リンク	
linkText.link(リンクアドレス)	リンクの設定を行います。
location.href	現在のロケーションを求める。URLを指定もできる。
pathname	ロケーション等のパス名を求める。
port	ポートです。
protocol	リンク先のプロトコルを返す。
search	指定されたURLをサーチする。
変換／演算	
escape("文字列")	文字列のアスキーコード(ISO Latin 1)を返す。
eval(文字列)	文字列を数式として演算する。
isNaN(値)	UNIXで数値かどうか調べます。
length	文字列、ヒストリー、画像などの数を返す。
name	ウィンドウ、フレームなどの名前を返す。
parseFloat("文字列")	小数を含む文字列を数値にする。
parseInt("文字列","基数")	文字列を整数値に変更する。
unescape("ISO Latin 1文字列")	ISO Latin 1形式の文字列を文字列に変換する。
toString(n)	変数をn進数に変換する。
タイマー	
clearTimeout(timerID)	指定されたタイマーを停止させる。
timerID = setTimeout(関数／命令, msec)	指定された間隔ごとに関数や命令を呼び出す。
フレーム	
frame	フレームサイズの設定／変更を行う。
parent	フレームプロパティ等の参照を行う。
self	自分自身のフレームを参照する。
top	先頭(一番最初に定義された)フレームを参照する。
target	ターゲットウィンドウを指定する。
配列	
配列名 = new Array(確保する配列数)	配列の生成を行う。
配列名.join("区切り文字")	配列の間に"区切り文字"をつけ加える。
配列名.reverse()	配列内容を入れ替える。
配列名.sort(comparatorFunction)	配列のソート(並べ替え)を行う。
画像	
document.images[参照番号]	ドキュメントの画像を参照する。
画像名.border	画像の枠(ボーダー)の値を読み出す。
画像名.complete	指定された画像の読み込みが完了フラグ。
画像名.filter[0].Apply()	トランジションの設定。
画像名.filter[0].Play()	トランジションの開始。
画像名.height	画像の高さを読み出す。
画像名.hspace	画像とテキスト間の間隔を読み出す。
Image(画像の横幅, 画像の縦幅)	新しい画像を生成する。
images.length	配列と画像の枚数を読み出す。
画像名.lowsrc	低解像度画像のアドレス。
画像名.src	画像のアドレス(ファイル名)。
画像名.vspace	指定された画像とテキストの余白(縦方向)の間隔(マージン)を読み出す。
画像名.width	指定された画像の横幅(ピクセル数)を返す。
演算オブジェクト	
Math.abs(数値)	絶対値を求める。
Math.acos(数値)	アークコサインを求める。
Math.asin(数値)	アークサインを求める。
Math.atan(数値)	アークタンジェントを求める。
Math.atan2(X,Y)	X,Y座標から角度を求める。
Math.ceil(数値)	もっとも大きくて近い整数を返す。
Math.cos(数値)	コサインを求める。
Math.E	eの値、2.718。
Math.exp(数値)	対数を求める。
Math.floor(数値)	最も小さい整数値にする。

演算オブジェクト	
Math.LN10	自然対数log10の値。
Math.LN2	自然対数log2の値。
Math.log(数値)	対数を求める。
Math.LOG10E	基底10のlogです(0.434)。
Math.LOG2E	基底2のlogを求めます(1.442)。
Math.max(数値1,数値2)	数値1と数値2を比較し大きいほうを取り出す。
Math.min(数値1,数値2)	数値1と数値2を比較し小さいほうを取り出す。
Math.PI	円周率。
Math.pow(a, b)	ab(べき乗)を求める。
Math.random()	0から1までの乱数を発生させる。
Math.round(数値)	数値を四捨五入する。
Math.sin(数値)	サイン(正弦)を求める。
Math.sqrt(数値)	平方根を求める。
Math.SQRT1_2	2の平方根1.414の半分の数値(0.707...)
Math.SQRT2	2の平方根(1.414...)
Math.tan(数値)	タンジェント(正接)を求める。
ファンクション	
arguments	ファンクション(定義関数)の引数。
prototype	ファンクションのタイプを返す。
オブジェクトタイプ	
prototype	オブジェクトのプロトタイプを作成する。
objectName.type	フォームエレメントのタイプを返す。
typeof	文字列のタイプを調べる。